

事務事業名		市民提言受付事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	017 自立した行政経営の確立		事業期間	
	施策名	29 市民参画と協働の推進			
	基本事業名	01 広報・広聴活動の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成14 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業	
所属	部課名	企画政策部秘書広報課		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
	課長名	伊藤晴喜			
	係名	広聴広報係	電話 0192-27-3111		
	担当者	佐藤誠	内線 210		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
①事業目的 市民提言箱の設置及び市ホームページ上に意見提言のコーナーを開設し、随時市民からの意見提言を受け付け、市政に反映させる事業。 ②仕事内容 ア. 市民提言箱の設置(市内の公共施設等8箇所に設置)、イ. 市ホームページ上に意見提言のコーナーを開設、ウ. 市民からの意見提言を受付、エ. 担当部署に反映状況等を照会、オ. 提言者への回答、カ. 反映状況を市ホームページで公表、キ. 懇談会の実施 ③事業費の用途 事業費はないため、支出なし。 ④その他特記事項 特になし。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 懇談会開催数 回	
市民提言箱、Eメールなどによる提言受付を行った。 次期総合計画策定のための市政懇談会を市内11地区で開催した。		イ 提言箱による意見件数 件	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ Eメールによる意見件数 件	
前年同様の提言受付を行う。		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称 単位	
市民		カ 人口 人	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
市政情報を理解していただく。 市政に対する意見・提言を受付、回答するとともに、広報等で公表する。 市民の意見・提言を市政に反映させる。市政への市民参加の促進。		ク	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
行政の透明性の確保と市政への市民意見の反映促進		名称 単位	
		サ 懇談会参加人数(延べ) 人	
		シ 市民の意見が反映された事務事業(市民提言箱、Eメールなど) 件	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)
			単位						
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
延べ業務時間		時間	700	700	700	700	700	1,000	
人件費計(B)		千円	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	4,000	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	4,000	
⑤活動指標	ア	回	1	-	-	-	-	1	
	イ	件	40	29	22	28	31	25	
	ウ	件	20	36	45	40	15	32	
⑥対象指標	カ	人	38,167	37,633	36,933	36,234	35,471	34,796	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	人	461	-	-	-	-	404	
	シ	件	8	15	6	0	1	0	
	ス								

事務事業ID	0369	事務事業名	市民提言受付事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成14年から、市民が市政に参加することを推進するため実施。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	市民提言箱は、当初2箇所だったが10箇所に拡充した。(現在は8箇所) Eメールによる提言も積極的に受け入れている。 地区ごとの市政懇談会や市内各種団体との懇談会を開催している。(現在は、復興に係る懇談会や各種説明会を中心に開催)
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民から、日常生活環境の改善をはじめとして、当市の将来のまちづくりに対する建設的な意見・提言も多数寄せられている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 市民の市政参加が推進されており、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 市民の市政参加が推進されており、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 提言等をいただく対象を限定しておらず、また市政懇談会についても、各地区での開催や各種団体と懇談しており、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 より市政に対し、広範かつ活発な提言等がなされるよう、若者や女性の参画などを促す必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 市民の市政への参加意欲・関心が減退する。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人件費のみで、事業費を要していない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 広聴活動の重要な役割を担っている事業であり、必要最小限の時間で対応しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象としており、偏りは無い。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	市民提言受付事業は、市民から直接提言等を伺うことができる、有効な制度であることから、現状を維持する。 この制度の活用を広報等により周知し市民からの提言件数の増加に努める。市政懇談会や各種団体との懇談会を計画的に開催する。